

発行日 10-23-2023

改訂日 10-23-2023

改訂番号 1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Lubricut 4215

製品コード 26071000000

登録番号 情報なし

安全データシート の供給者の詳細 供給者

 Lozier Oil Company
 1 Sunny St.
 Farmington, IL 61531
 Telephone: 309-245-4846

 緊急連絡電話番号 化学品輸送緊急センター: +1-703-527-3887(国際)
 1-800-424-9300(北米)

電子メールアドレス support@lozieroil.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

 推奨用途 産業用途
 金属加工油剤

使用上の制限 なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

誤えん有害性	分類できない
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分 1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2 区分 3
区分 2 中枢神経系、胃腸管。	
区分 3 標的臓器影響: 気道刺激性。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

危険有害性情報

- ・皮膚刺激
 - ・重篤な眼の損傷
 - ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 - ・生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 - ・呼吸器への刺激のおそれ
 - ・臓器の障害のおそれ
- 以下の臓器の障害のおそれ: 中枢神経系、胃腸管。

注意書き安全対策

- ・使用前に取扱説明書を入手すること
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- ・保護手袋／保護衣及び眼／顔面保護具を着用すること
- ・取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
- ・屋外又は換気の良い場所だけで使用すること

応急措置

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ・直ちに医師に連絡すること
- ・皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
- ・皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察／手当を受けること
- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・気分が悪いときは医師に連絡すること

保管

- ・施錠して保管すること
- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと

廃棄

- ・内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

- ・情報なし

3. 組成及び成分情報化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
トリエタノールアミン	102-71-6	21	既存	(2)-308,(2)-353	既存	(2)-308,(2)-353
ジイソプロパノールアミン	110-97-4	1-5	既存	(2)-309	既存	(2)-309
ホウ酸	10043-35-3	3,6	既存	(1)-63	既存	(1)-63
2-アミノ-2-メチル-1-プロ	124-68-5	1-5	既存	(9)-118	既存	(9)-118

パノール						
------	--	--	--	--	--	--

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない。

労働安全衛生法**通知対象物質**

安衛法第57条の2、施行令第18条の2、別表第9第1号、第2号及び別表第3第3号

危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物

法第57条の3

化学名又は一般名	規則名称	CAS番号	含有率 %	施行日
トリエタノールアミン	トリエタノールアミン	102-71-6	21	
ホウ酸	ホウ酸	10043-35-3	3.6	

表示対象物質

安衛法第57条、施行令第18条、別表第9第1号、第2号及び別表第3第3号

化学名又は一般名	規則名称	CAS番号	含有率 %	施行日
トリエタノールアミン	トリエタノールアミン	102-71-6	21	
ホウ酸	ホウ酸	10043-35-3	3.6	

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置**一般的なアドバイス**

直ちに医師の手当てを受ける必要がある。治療を行う医師にこのSDSを示すこと。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに石けん(鹼)と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

直ちに医師の診察／手当てを受けること。直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗っている間は眼を大きく広げたままにすること。受傷部をこすらないこと。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。無理に吐かせないこと。医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 灼熱感。掻痒感。発疹。じんま疹。**応急措置をする者の保護に必要な注意事項** 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。個人用保護衣を着用すること(項目8を参照)。**医師に対する特別な注意事項**

過敏な人に感作を引き起こすおそれがある。症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置**適切な消火剤**

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性	製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。
特有の消火方法	提供された情報に基づき知見なし。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。指定された個人用保護具を着用すること。十分換気されているか確認すること。人員を安全な区域に退避させること。人員を漏出／漏えい(洩)の風上に遠ざけること。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。
その他の情報	項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。十分換気されているか確認すること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。
衛生対策	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。適切な手袋及び眼／顔面保護具を着用する。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。

保管

安全な保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。施錠して保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。
---------	---

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	シャワー 洗眼場 換気システム。
------	------------------------

許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
トリエタノールアミン 102-71-6	-	-	TWA: 5 mg/m ³
ホウ酸	-	-	TWA: 2 mg/m ³ inhalable

10043-35-3			particulate matter STEL: 6 mg/m ³ inhalable particulate matter
------------	--	--	---

生物学的モニタリング指標 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない

環境ばく露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる。

眼及び／又は顔面の保護具 密封性の高い安全ゴーグル。

手の保護具 適切な手袋を着用する。不浸透性手袋。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理状態	液体
色	琥珀色
臭い	軽度
臭いのしきい値	情報なし

特性

特性	値	備考・方法
融点／凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		データなし
爆発又は可燃の上限界		データなし
爆発又は可燃の下限界		データなし
引火点		データなし
蒸発速度		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH	9.2 - 10.2	
粘度		
動粘性率	2.993 mm ² /s	
動的粘度		データなし
水への溶解度		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配係数(log値)		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		
相対密度		データなし
蒸気濃度		データなし
かさ密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし
酸化性 情報なし
VOC含有率 43.7 g/L

10: 安定性及び反応性

反応性 通常の使用条件下ではない。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 提供された情報に基づき知見なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ
静電放電に対する感度 なし。

機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている:

ATE_{mix}(吸入-粉じん/ミスト) >10.0 mg/l

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
トリエタノールアミン	= 4190 mg/kg (Rat)	> 20000 mg/kg (Rabbit)	-
ジイソプロパノールアミン	= 4765 mg/kg (Rat)	= 8000 mg/kg (Rabbit)	-
ホウ酸	= 2660 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rabbit)	> 2.12 mg/L (Rat) 4 h
2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール	= 2900 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rabbit)	-

症状 発赤。灼熱感。失明を引き起こすおそれがある。掻痒感。発疹。じんま疹。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。気道刺激を引き起こすおそれ。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。反復又は長期にわたるばく露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある。(成分に基づく)。皮膚刺激。

眼接触	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。重篤な眼の損傷。眼に対する不可逆な損傷を引き起こすおそれがある。
皮膚腐食性／刺激性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類。皮膚刺激。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類。薬傷を引き起こす。重篤な眼の損傷。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
生殖細胞変異原性	分類できない。
発がん性	ホウ酸は、特定の有機リン系除草剤または殺虫剤の散布または噴霧に使用される場合、IARC 2A 発がん性に分類される。利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学名又は一般名	日本	IARC
トリエタノールアミン 102-71-6		Group 3
ホウ酸 10043-35-3		Group 2A

凡例

国際がん研究機関

グループ2A - ヒトに対する発がん性がおそらくある

グループ3 - ヒトに対する発がん性について分類できない

生殖毒性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 国又は地域で採用され、SDSが準拠している世界調和システム(GHS)の分類基準に基づき、この製品は急性のばく露に起因して全身標的臓器毒性を引き起こすと判定されている。臓器の障害のおそれ。呼吸器への刺激のおそれ。

中枢神経系、胃腸管。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない。

誤えん有害性 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 区分に該当しない。

化学名又は一般名	藻類／水生植物	魚類	甲殻類
トリエタノールアミン - 102-71-6	EC50: =216mg/L (72h, <i>Desmodesmus subspicatus</i>) EC50: =169mg/L (96h, <i>Desmodesmus subspicatus</i>)	LC50: 10600 - 13000mg/L (96h, <i>Pimephales promelas</i>) LC50: >1000mg/L (96h, <i>Pimephales promelas</i>) LC50: 450 - 1000mg/L (96h, <i>Lepomis macrochirus</i>)	-
ジイソプロパノールアミン - 110-97-4	EC50: =270mg/L (72h, <i>Desmodesmus subspicatus</i>)	LC50: 1000 - 2200mg/L (96h, <i>Brachydanio rerio</i>)	EC50: =277.7mg/L (48h, <i>Daphnia magna</i> Straus)
ホウ酸 - 10043-35-3	-	-	EC50: 115 - 153mg/L (48h, <i>Daphnia magna</i>)
2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール - 124-68-5	EC50: =520mg/L (72h, <i>Desmodesmus subspicatus</i>)	LC50: =190mg/L (96h, <i>Lepomis macrochirus</i>)	EC50: =193mg/L (48h, <i>Daphnia magna</i>)

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

成分情報

化学名又は一般名	分配係数
トリエタノールアミン 102-71-6	-2.53
ジイソプロパノールアミン 110-97-4	-0.79
ホウ酸 10043-35-3	-1.09
2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール 124-68-5	-0.63

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

IMDG 規制対象外

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
情報なし

ADR 規制対象外

IATA 規制対象外

国内規則

項目15を参照。消防法、毒劇法、高圧ガス保安法、船舶安全法、航空法に該当する場合はそれぞれの規定に従う。

日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
該当しない

労働安全衛生法

表示対象物質

安衛法第57条、施行令第18条、別表第9第1号、第2号及び別表第3第3号

通知対象物質

安衛法第57条の2、施行令第18条の2、別表第9第1号、第2号及び別表第3第3号

危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物

法第57条の3

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

下表は、記載されている、該当すると考えられるカットオフ値を超える成分を示す

化学名又は一般名	CAS番号	化審法
トリエタノールアミン	102-71-6	優先評価化学物質

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

化学兵器禁止法

化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律施行令、第1条別表項目3、第4欄、第2種指定原料物質

水質汚濁防止法

水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第2条で定める有害物質

下水道法

下水道法第12条の2及び下水道法施行令第9条の4

水道法

水道法第4条、法定水質基準

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること

16. その他の情報

発行日 10-23-2023

改訂日 10-23-2023

改訂記録 第1版。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例

SVHC: 許認可の対象となる高懸念物質:

PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性物質(PBT)

vPvB: 高残留性・高生体蓄積性(vPvB)物質

STOT: 特定標的臓器毒性

ATE: 急性毒性推定値

LC50: 50%致死濃度

LD50: 50%致死量

凡例 8: ばく露防止及び保護措置

TWA TW A(時間加重平均)

Sk* 経皮吸収

天井値

+

最大限界値

感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
米国環境保護庁
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
製品評価技術基盤機構(NITE)
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり